

## 9 植物エキス発酵飲料の肝機能障害患者に対する効果の臨床的検討

○梶本修身 (国立大阪外大・保健管理センター)

福士宗光 (株式会社ケルプ研究所)

平田 洋 (岡山大学医学部第3内科)

島田あかね(大阪市立大学第1内科)

**【目的】**葉菜類、花菜類、果菜類、根菜類、柑橘類、果実類、海草類、藻類など自然植物を原材料とし自然発酵させた植物エキス飲料における肝機能改善効果について投与試験を実施し、臨床的に検討を行った。

**【対象】**対象は、肝機能障害にて内科外来通院中の患者20名で、平均年齢は57.6歳、男性14名、女性6名であった。被験者は、内科にて治療中あるいは経過観察中であり、試験開始時に生化学血液データにおいて異常値を有している者のみを対象とした。また、投与1ヶ月前からは、原則として医薬品の変更を行わないようにした。尚、調査はヘルシンキ宣言の主旨に従って行い、患者である被験者には本試験の主旨を十分に説明し、本人の了解の下に投与試験を実施した。

**【投与試験方法】**被験者には、1回50ccの植物発酵エキスを1日3回服用させた。服用期間は原則として8週間とした。

**【成績】**(1) 血液マーカー: GOT(投与前55.1→投与後41.3)、GPT(59.9→45.6)において、有意な改善効果を認めた(Wilcoxon test:  $p < 0.05$ )。また、 $\gamma$ -GTPにおいても、84.6→43.4と改善傾向を認めた( $p < 0.08$ )。他、ALP、総コレステロール、トリグリセライドにおいても、投与前に異常値を呈していた患者に対し改善効果を示した。これらの改善効果は、高脂血症とアルコール性肝炎の患者で特に顕著に認められた。(2) 自覚症状の変化: 投与後の自覚症状の変化において、全身倦怠感で18例中14例(78%)において改善を認めた(著明改善6%・かなり改善33%・改善39%)。他、便秘(改善率56%)、腹部膨満感(60%)、食欲不振(60%)にも有用であることが示された。さらに、飲酒習慣のある者においては全症例の85%において二日酔いに対する軽減効果が確認された。

**【結論】**以上より、肝機能障害を有する患者、特に高脂血症あるいはアルコール性肝炎など食生活との関連の強い患者群では、植物発酵エキスが有効であることが示された。